

SOUND  **DEVICES**



Wave Agent Beta 1.2

WAV File Librarian Software
for Windows and Mac Operating Systems
Software Revision 1.2

Sound Devices, LLC
E7556 State Highway 23 and 33 • Reedsburg, WI • USA
+1 (608) 524-0625 • fax: +1 (608) 524-0655
Toll-Free: (800) 505-0625
www.sounddevices.com
support@sounddevices.com

 **日本テックトラスト株式会社**

目次

| | | | |
|---------------------------------|-----------|---|-----------|
| Wave Agent のインストール | 3 | トラックネームの編集とファンクション | 15 |
| 要求されるシステム | 3 | サンプリングレートとフレームレートの編集 | 15 |
| Mac OS | 3 | 異なるスピードで再生 | 16 |
| Windows OS | 3 | タイムコード開始時間の編集 | 16 |
| メイン画面 | 4 | Split / Combine 画面 | 17 |
| メニューバー | 5 | Split Poly 画面 | 17 |
| ファンクション・ボタン | 7 | Poly ファイルのスプリット | 18 |
| トランスポートコントロール画面 | 8 | Combine Mono 画面 | 19 |
| テイクリスト | 9 | ファイルのコンパイン | 20 |
| テイクリストへインポートする | 9 | 結合してトラックを並べ替える | 22 |
| テイクリストのカスタマイズ | 9 | レポート画面 | 23 |
| テイクリストの並び替え | 9 | 再生用ミキサー | 25 |
| テイクを選択、再生する。 | 10 | コントロールモード | 26 |
| マルチテイクを選択する | 10 | Control Mode のメーター画面 | 28 |
| テイクリストからテイクを削除する | 11 | Control Mode のメニュー・バー | 28 |
| テイクリストからテイクをコピーする | 11 | Control Mode のトランスポート | 31 |
| テイクとファイルをリネームする | 11 | Control Mode の Take List 画面 | 31 |
| ファイルを削除 | 12 | Take List 画面での操作 | 33 |
| メタデータ編集 | 12 | 補足 1 メタデータ実装表 | 33 |
| メタデータ (page-1) | 12 | 補足 2 キーボードショートカット | 35 |
| メタデータ (page-2) | 13 | 補足 3 Sound Report PDF サンプル | 36 |
| メタデータエディタには | 14 | | |
| テイクのメタデータ編集 | 14 | | |
| 重複テイクを防ぐ | 14 | | |

ようこそ

この度は、Wave Agent (多目的・再生・編集ツール) を選択していただきありがとうございます。Wave Agent は複雑なプロダクション・ワークフローでのオーディオファイルの受渡して発生する問題を解決するための包括的かつ必須なツールです。Wave Agent は、Sound Devices 社の 788T と連携して拡張メーターを表示やコントロールを可能にします。

特徴

- ・ ポリフォニック / モノフォニックの WAV ファイル再生機能 (32 tracks までサポート)
- ・ メタデータの閲覧と編集
- ・ メタデータスタンプのサンプリングレートの変更
- ・ ポリフォニックとモノフォニックファイルをトラック指定して分割・結合編集
- ・ Batch 編集
- ・ サウンドレポート PDF ファイル、CSV ファイルの作成
- ・ タイムコード表示
- ・ FADER, PAN, MUTE によるモニターミキサー搭載
- ・ ドラッグ&ドロップ操作
- ・ キーボードショートカットによるクイック操作
- ・ 788T のトラックメーター、タイムコード表示、Rec / Stop コントロール、メタデータ編集
- ・ Mac OS と Windows に対応

著作権表示とリリース

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the expressed written permission of SOUND DEVICES,LLC. SOUND DEVICES is not responsible for any use of this information.

SOUND DEVICES, LLC shall not be liable to the user of this product or third parties for damages, losses, costs, or expenses incurred by purchaser or third parties as a result of: accident, misuse, abuse, or failure of this product or unauthorized modifications or alterations to this product. Microsoft Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation. Macintosh is a registered trademark of Apple Computer. Other product and company names mentioned herein may be the trademarks of their respective owners.

The sound waves logo is a registered trademark of Sound Devices, LLC.

Wave Agent のインストール

この手順書は、MacOS と Windows OS の両方に対応しています。スクリーンショットは Windows バージョンです。Mac と Windows で異なる部分は両方の OS のスクリーンショットと説明が記述されます。。

要求されるシステム

| | |
|--------------------|--|
| Operating Systems | Windows XP Service Pack 2 Windows Vista, SP1 recommended Windows 7 MAC OS X (10.4 or greater), PPC or Intel |
| Hard Drive Space | 45 MB |
| Display Resolution | 1024 x 600 (recommended minimum) |
| Meter Mode | 788T/788T-SSD v2.10+ |

常駐するウイルス対策ソフトは、Wave Agent に影響を与える恐れがあります。Sound Device は、WAV ファイルがインポートされる時だけ一時的にウイルス対策ソフトの常駐を外すことをお勧めします。

Mac OS

1. Mac installation .zip ファイルを sounddevices.com からダウンロードしてください。
2. 解凍して、WaveAgentInstall.mpkg を実行してください。
3. インストラクションの指示に従ってください。
4. インストールが完了したら、コンピュータをリスタートしてください。
5. リスタート後、アプリケーションディレクトリの Wave Agent フォルダにある Wave Agent.app をダブルクリックして起動してください。

Windows OS

1. installation .ZIP ファイルを sounddevices.com からダウンロードしてください。
2. 解凍して、WaveAgentInstall.exe を実行してください。
3. インストラクションの指示に従ってください。
4. インストールが完了したら、コンピュータをリスタートしてください。
5. リスタート後、Windows デスクトップの Wave Agent アイコンをダブルクリックして起動してください。

Wave Agent Beta 1.17 は、プリリリース版なので正式サポートされません。疑問や意見は、Eメール質問として support@sounddevices に送るか、www.sounddevices.com/support/ でお願いいたします。Wave Agent Beta 1.17 に関する電話でのお問合せはご遠慮願います。

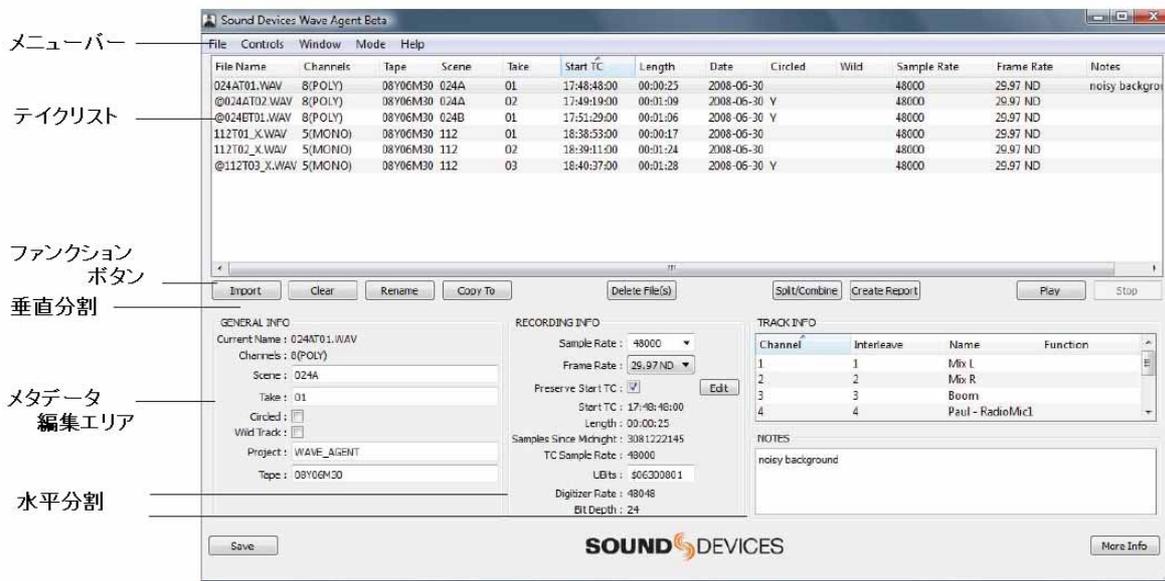
メイン画面

Wave Agent は Edit モードと Meter モードの 2 つのモードで構成されます。選択されたモードにより全体的な機能が決定されます。デフォルトは Edit モードで、事前に録音されたファイルを管理するために使用します。Meter モードは録音中に使用するもので、v2.00 以上の firmware がインストールされた 788T と併用してディスプレイを拡張表示させることができます。

Edit モードでのメイン画面は、「インポートされたテイクのテイクリスト」と「メタデータ編集」の 2 つのセクションから構成されます。各ウィンドウはサイズ変更が可能です。

Wave Agent のコマンドは、アプリケーションメニューやキーボードショートカット、ファンクション・ボタンからアクセスできます。複数画面を同時に開くことができます。

現在のレイアウトは自動的に保存されるので、次回の起動時に Wave Agent は最後に開かれた同じレイアウトで構成されています。レイアウトの初期化をするには、Window > Restore Default Layout を選択することでいつでも可能です。



メニュー・バー
様々なコマンドとファンクション用のドロップダウンメニュー。

テイクリスト
インポートされたテイクリストが表示されます。

ファンクション・ボタン
ファンクションや画面へのクイックアクセスを可能にします。

メタデータ・エリア
メタデータの閲覧と編集領域です。

垂直分割
ドラッグすると、テイクリスト領域とメタデータ編集領域をサイズ変更できます。

水平分割
ドラッグすると、メタデータ情報領域を隠したりサイズ変更したりできます。

メニューバー

様々なコマンドとファンクション用のドロップダウンメニューにアクセスできます。

画面メニュー

File Menu

ファイルメニューへアクセスします。

- File Brower を使ってインポート
- セレクト先へコピーファイル
- テイクリストのファイルをリネーム
- プリファレンス・メニューへアクセス
- Wave Agent の終了

| File | |
|-------------|--------|
| Import... | Ctrl+O |
| Copy To... | Ctrl+C |
| Rename... | Ctrl+N |
| Preferences | Ctrl+= |
| Exit | Ctrl+Q |

Controls Menu

トランスポートコントロールとキーボードショートカットのリストを表示します。

| Controls | |
|----------|-------|
| Stop | F3 |
| Pause | Space |

Window Menu

様々なウィンドウにアクセスします。キーボードショートカットによるウィンドウの開閉も可能です。ファクトリーリセットでいつでもデフォルトレイアウトに戻すことができます。

| Window | |
|------------------------|--------|
| Transport | Ctrl+T |
| Split/Combine | Ctrl+I |
| Reports | Ctrl+R |
| Playback Mixer | Ctrl+M |
| Restore Default Layout | |

Mode Menu

Wave Agent の全体的なモードを選択します。デフォルトは Edit モードです。メーターモードは 788T(FW2.00 以上)が USB1 経由で Wave Agent に接続された時だけ選択することができます。

| Mode | |
|----------------------------------|--------------|
| <input checked="" type="radio"/> | Edit Mode |
| <input type="radio"/> | Control Mode |

Help Menu

Wave Agent ユーザーガイドとテクニカルインフォメーション、Sound Devices のサポートページへアクセスすることができます。現在のソフトウェアバージョンを確認することができます。

| Help | |
|------------|----|
| User Guide | F1 |
| Support | |
| About | |

Mac OS X メニュー

Wave Agent Menu

Wave Agent メニューにアクセスします。

- Software バージョンを見ます。
- プリファレンスメニューにアクセスします。
- Mac Service メニューにアクセスします。
- Wave Agent、他のアプリケーションを Hide / Show します。
- Wave Agent を終了します。

Wave Agent

About Wave Agent
Preferences... ⌘,

Services ▶

Hide Wave Agent ⌘H
Hide Others ⌘⇧H
Show All

Quit Wave Agent ⌘Q

File Menu

- テイクリストへインポートします。
- テイクリストへ選択したファイルをコピーします。
- テイクリストのファイルをリネームします。

File

Import... ⌘O

Copy To... ⌘C

Rename... ⌘N

Controls Menu

トランスポートコントロールへアクセスし、そのショートカットのリストを示します。

Controls

Stop F3

Play

Window Menu

様々なウィンドウ表示とそのキーボードショートカットです。リストアデフォルトでいつでもデフォルトレイアウトに戻すことができます。

Window

Transport ⌘T

Split/Combine ⌘I

Reports ⌘R

Playback Mixer ⌘M

Restore Default Layout

Mode Menu

Wave Agent の全体的なモードを選択します。デフォルトは Edit モードです。Control モードは 788T(v2.10 以上)が USB1 経由で Wave Agent に接続され、788T の Setup メニューで "Connect to Wave Agent" と設定されている時だけ選択することができます。

Mode

✓ Edit Mode

Control Mode

Help Menu

Wave Agent ユーザーガイドを起動します。Sound Devices テクニカルサポート web ページを表示します。

Help

Search

User Guide
Support

ファンクション・ボタン

Import ボタン

インポートするファイルを選択するためのインポート画面が表示されます。

Ctrl + O (Windows)

Apple + O (Mac)

Clear ボタン

リストからハイライト状態のファイルを削除します。実際のファイルが削除されるわけではありません。

Delete (Windows)

Fn + Delete (Mac)

Rename ボタン

テイクリストでハイライト状態のテイクをリネームします。ファイルは選択されたテイクのシーンとテイク番号に従ってリネームされます。 **注意：リネームした後にアンドゥはできません。**

Ctrl + C (Windows)

Apple + C (Mac)

Copy To ボタン

テイクリストのハイライト状態のテイクがユーザー指定の場所へコピーされます。

Ctrl + C (Windows)

Apple + C (Mac)

Delete File ボタン

ハイライトされたテイク（コンピュータ内、あるいはインポートされたストレージメディアのファイル）を、完全に消去します。 **注意：オリジナルファイルを完全に削除し、ゴミ箱に入ることはありません。**

Split/Combine ボタン

WAVトラックを配置変換するための、Split / Combine ウィンドウを開きます。

Ctrl + I (Windows)

Apple + I (Mac)

Create Report ボタン

カスタマイズ可能なレポートウィンドウを開き、サウンドレポート PDF を作成できます。

Ctrl + R (Windows)

Apple + R (Mac)

Play/Pause ボタン

現在選択されたテイクを再生・ポーズするトグルボタンです。

スペースバー (Windows と Mac)

Stop ボタン

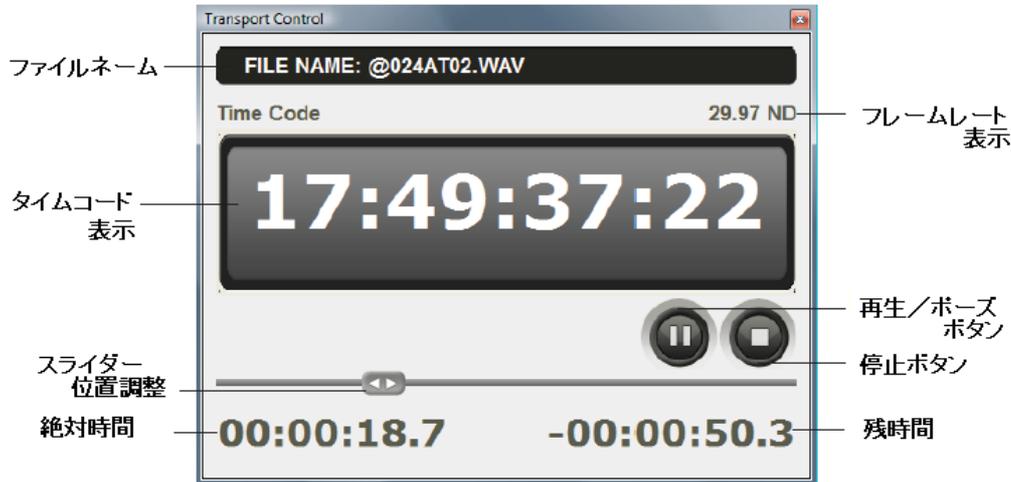
再生を停止して、キューの先頭へ戻るボタンです。

キーボードショートカット：*F3 (Windows と Mac)*

Mac の Preference の設定により fn + F3 の場合があります。

トランスポートコントロール画面

トランスポートコントロール画面は、全ての再生機能を持ちます。タイムコードや絶対時間、再生残量時間も表示されます。トランスポートコントロール画面はプリファレンスメニューで設定することにより、再生時に自動的に表示させることができます。



テイク・ファイルネーム
テイクリストで選択されているファイルネームが表示されます。

タイムコード・カウンタ
テイクリストで選択されているテイクの現在のタイムコードが HH:MM:SS:FF (時間:分:秒:フレーム) で表示表示されます。タイムコードスタンプを持たないスタンダード WAV ファイルの場合は、絶対時間が表示されます。SS と FF の間のセミコロンは、ドロップフレームを意味します。

フレームレート表示
選択されたテイクのタイムコードフレームレートを表示します。

再生/ポーズ ボタン
再生と一時停止をトグル動作します。

停止ボタン
選択されたテイクの再生を停止し、キューの先頭へ戻ります。

絶対時間カウンタ
テイクの開始から経過した時間を表示します。

ロケーションスライダー
スライダーを左右にドラッグすると再生位置を変更することができます。スライダーは現在再生している場所を表示しています。

残量時間カウンタ
テイクの終了位置までのカウントダウンです。

テイクリスト

テイクリストは、インポートされた全てのテイクのメタデータの概要を容易に知ることができます。インポートされたファイルはテイクリストの中で視覚的に情報表示されます。

テイクリストでは、テイクがシングルとして作成されたか、ポリフォニックとして作成されたか、あるいはスプリットによって分割されたマルチ・モノフォニックファイルのグループであるかを判断し、1つのテイクとして表示します。テイクの上にマウスポインターを置くと、そのテイクが実際に存在しているメディアの場所をポップアップ表示します。

| File Name | Channels | Tape |
|-----------|--------------------|------|
| T01.WAV | 4(POLY) | |
| T01_X.WAV | 4(MONO) | |
| T02.WAV | C:/788TWAV/T01.WAV | |
| T03.WAV | 4(POLY) | |

Channels コラムでは、テイクが MONO であるか POLY であるかを表示します。POLY は複数のモノフォニックあるいは、1つのポリフォニックで構成されているかに関わらず表示されます。

| File Name | Channels |
|-----------|----------|
| T01.WAV | 4(POLY) |
| T01_X.WAV | 4(MONO) |

複数のモノフォニックで構成されるテイクは、テイクの末尾に「_X」が追加されます。

MONO、POLY の文字表記の後ろにアスタリスクが表示されている時（例えば、MONO*）、WAV ファイルの中のチャンネルヘッダー情報に問題があることを示します。

テイクリストへインポートする

個々のファイル、ファイルのグループ、あるいはフォルダごとテイクリストへインポートしてください。WAV 拡張子、BWF 拡張子のファイルがインポートされます。インポートするには2つの方法があります。

- ・ ファイルかフォルダをテイクリストへドラッグ・ドロップする。
- ・ Import ボタンを押して、Import Files ブラウザを開き、ファイルを選択する。

フォルダからテイクリストへインポートされるとき、Wave Agent は自動的にフォルダ内の同じテイクをサーチします。

テイクリストのカスタマイズ

必要な情報だけを表示するようにテイクリストのコラムをカスタマイズすることができます。メタデータフィールドを使って、コラムに追加・削除を行ってください。メタデータフィールドリストを表示するには、テイクリストの内側で右クリック(Windows)するか、Control + Click (Mac) してください。表示させたいリストにチェックし、削除するものはチェックを外してください。

コラムの表示順番を変更するには、コラムヘッダを任意の位置へドラッグしてください。コラムの表示幅を変更するには、リサイズツールを使用してください。リサイズツールはコラムヘッダの間にカーソルを置くことで表示されます。

| Current Name |
|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> File Name |
| <input checked="" type="checkbox"/> Channels |
| <input type="checkbox"/> Project |
| <input checked="" type="checkbox"/> Tape |
| <input checked="" type="checkbox"/> Scene |
| <input checked="" type="checkbox"/> Take |
| <input checked="" type="checkbox"/> Start TC |
| <input checked="" type="checkbox"/> Duration |
| <input type="checkbox"/> End TC |
| <input type="checkbox"/> Originator Ref |
| <input checked="" type="checkbox"/> Date |
| <input type="checkbox"/> Time |
| <input checked="" type="checkbox"/> Circled |
| <input checked="" type="checkbox"/> Wild |
| <input checked="" type="checkbox"/> Notes |
| <input checked="" type="checkbox"/> Sample Rate |
| <input checked="" type="checkbox"/> Frame Rate |
| <input type="checkbox"/> Bit Depth |
| <input type="checkbox"/> Ubits |
| <input type="checkbox"/> File UID |

テイクリストの並び替え

コラムヘッドにより様々な順にテイクを並び替えられます。コラムヘッダをクリックすることで、そのコラム種類でソートされます。逆方向にソートするには再度コラムヘッダをクリックしてください。コラムヘッダ内にはソート順を示す矢印が表示されます。

テイクリストへインポートされた時、自動的にタイムコードでソートされます。

| Current Name | Channels | Tape | Scene | Take | Start TC | Length | Date | Circled | Wild | Sample Rate | Frame Rate | Notes |
|---------------|----------|----------|-------|------|-------------|----------|------------|---------|------|-------------|------------|------------------|
| 024AT01.WAV | 8(POLY) | 08Y06M30 | 024A | 01 | 17:46:48.00 | 00:00:25 | 2008-06-30 | | | 48000 | 29.97 ND | noisy background |
| | 8(POLY) | 08Y06M30 | 024A | 02 | 17:49:19.00 | 00:01:09 | 2008-06-30 | Y | | 48000 | 29.97 ND | |
| | 8(POLY) | 08Y06M30 | 024B | 01 | 17:51:29.00 | 00:01:06 | 2008-06-30 | Y | | 48000 | 29.97 ND | |
| 112T1_X.WAV | 5(MONO) | 08Y06M30 | 112 | 01 | 18:38:53.00 | 00:00:17 | 2008-06-30 | | | 48000 | 29.97 ND | |
| 112T02_X.WAV | 5(MONO) | 08Y06M30 | 112 | 02 | 18:39:11.00 | 00:01:24 | 2008-06-30 | | | 48000 | 29.97 ND | |
| @112T03_X.WAV | 5(MONO) | 08Y06M30 | 112 | 03 | 18:40:37.00 | 00:01:28 | 2008-06-30 | Y | | 48000 | 29.97 ND | |

- Current Name
- File Name
- Channels
- Project
- Tape
- Scene
- Take
- Start TC
- Length
- End TC
- Originator
- Originator Ref
- Date
- Time
- Circled
- Wild
- Notes
- Sample Rate
- Frame Rate
- Bit Depth
- Ubits
- File UID

コラムヘッダ

リスト表示されたテイクの様々なプロパティを表示します。メタデータフィールドリストから表示したいプロパティを選択できます。コラムヘッダをクリックしてリストのソートができます。

メタデータ
フィールドリスト

コラム分割

コラム分割をクリック、ドラッグした表示幅を変更できます。

メタデータフィールドリスト

テイクリストの中で、右クリック(windows)か Ctrl+click(Mac)すると表示されます。チェックマークの入った項目がテイクリストに表示されます。

テイクを選択、再生する。

テイクリストの中でクリックすることで再生するテイクを選択できます。Up / Down キーでもテイクを選択することができます。

再生するにはいくつかの方法があります。テイクをダブルクリックするか、テイクをクリック選択してからメイン画面 Play ボタンかトランスポートウィンドウの Play ボタンを押してください。

マルチテイクを選択する

バッチ編集、クリア、リネーム、コピー、削除を行うために、複数のマルチテイクを選択するには、テイクリスト中のマルチテイクをハイライトにする必要があります。Shift+クリック、Ctrl+クリックで画面の複数のマルチテイクを選択してください。

全てのテイクを選択するには、Ctrl+A (windows)か Apple+A (Mac) を押してください。

複数テイクが選択されると、下のメタデータ編集は最後に追加(クリック)されたテイクのメタデータが表示されます。

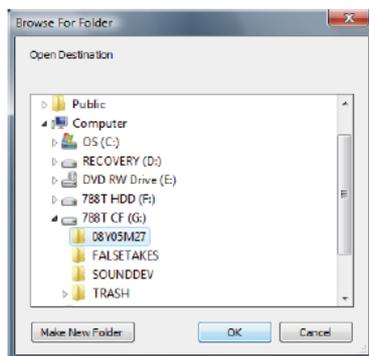
テイクリストからテイクを削除する

テイクリストから不要なテイクを削除するには、削除したいテイクをハイライト状態にしてから Clear ボタンを押すか、キーボードショートカット Delete (windows) か Fn + Delete(Mac) を押してください。

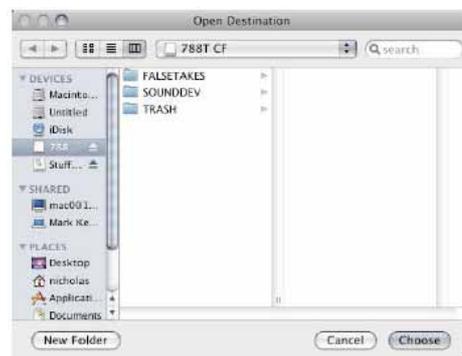
テイクリストからテイクをコピーする

Copy To ボタンは、編集されたファイルを任意の保存先ディレクトリ（か USB や FireWire で接続されたリムーバブルメディア上の FAT）へコピーできる便利なツールです。ネットワーク構成されたメディアにコピーすることもできます。

1. テイクリストからテイクを選択して、Copy To ボタンをクリックしてください。
2. ディスティネーションプロセッサで、任意の保存先を選択して OK(Windows)か Choose(Mac)をクリックしてください。



Windows



Mac OS

テイクとファイルをリネームする

Broadcast WAV ファイルには複雑なメタデータも含まれますが、wav ファイルに名付けられたファイル名もポストプロダクションで便利に使用されます。ファイル名は、特別なアプリケーションにインポートすること無しに、すぐにファイル管理で見ることができます。Wave Agent はファイル、テイクのリネーム操作をユーザーに提供します。

- ・ 個々のファイルをリネーム、あるいはバッチリネームファイル。
- ・ 埋め込まれたメタデータとファイル名の照合
- ・ 同時に作成されたファイル群にファイル名編集を確認する

Wave Ageng は、メタデータとしてシーンやテイクを引用してリネームします。たとえば、シーン名 =001、テイク番号=12 は、リネームされると次のように名前を付けられます。

001T12.WAV と

この「T」は、テイク番号を認識するための文字です。

リネームするには：

1. テイク（あるいは複数のテイク）をテイクリストから選択し、Rename ボタンをクリックします。
2. OK をクリックすると実行し、Cancel をクリックすると中止します。

Wave Agent は、リネーム後に重複するファイル名が存在してしまう場合は、リネームを行いません。

ファイルを削除

ファイルを完全に削除するには：

1. テイクリストからテイクを選択し、Delete File ボタンをクリックします。
2. OK をクリックすると実行し、Cancel をクリックすると中止します。

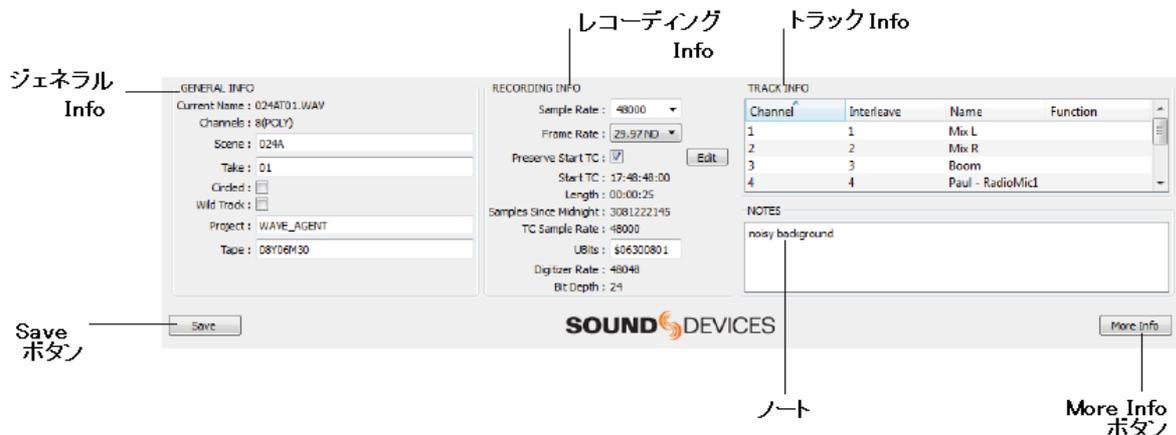
コンピュータから、あるいは取り付けられたメディアから Wave Agent にインポートされたファイルを削除すると、完全に取り除かれます。削除されたファイルがゴミ箱へ送られることはありません。

メタデータ編集

メタデータ編集は、WAV ファイルメタデータを閲覧、編集することができます。iXML、BEXT、Format chunk、プロジェクト、Tape、Scene、Take、Track Name、Track Function、Notes を編集できます。メタデータエディタは sampling rate、time code frame rate、start time code stamp も編集できます。サンプリングレートを変更することは、再生スピードの変更にも使えます。テイクを Circle Take や Wild Take として区別をつけ、ノート編集することもできます。

スタンダード WAV ファイルは bEXT や iXML 情報を含みません。iXML や bEXT タイプのメタデータはユーザーによって付加することができます。Wave Agent は自動的にブロードキャスト WAV メタデータを作成し、必要なメタデータチャンクを含めます。

メタデータ (page-1)



ジェネラル・Info

Project、Scene、Take、Tape、などの様々なメタデータを表示します。

レコーディング・Info

Sample rate、Frame rate、timecode 情報など様々な録音状況を示します。

トラック・Info

Channel number、track name、track function を含む様々なトラック情報を示します。Track name と function はテキストフィールドをクリックすると編集することができます。

ノート

ユーザーによって入力されたノートを表示します。

サークル・テイク

サークルのチェックボックスをクリックすると、選択されているテイクの iXML サークルフラグが設定されます。サークルは後編集時に使用されるべき、推奨されるテイクである区別をつけます。

Wildトラック

ワイルドトラックとしてチェックボックスをクリックすると、選択されているテイクの iXML ワイルドトラックフラグが設定されます。Wildトラックは一般的に環境音や音響効果音などのカメラ映像に一致しない音源を指します。

Save ボタン

テイクリストの中でハイライトされたテイクのメタデータを変更するために Save ボタンをクリックします。キーボードショートカット：Ctrl + S (Windows)と Apple+S(Mac)

More Info ボタン

メタデータ編集用の2つの画面を切り替えるために、このボタンをクリックします。

メタデータ (page-2)



履歴 Info

選択されているファイルの作成された時の名前と、現在のファイル名が引き継がれた親の名前が表示されます。

ユーザー Info

追記の iXML ノートフィールド

オリジネータ Info

レコーダーについて含まれる情報と録音されたときのタイムスタンプ。

ファイルセット Info

同時に作成された mono ファイル群のリンクを提供する情報です。アプリケーションが自動的にテイクを再構築するための情報です。

シンク・ポイント Info

Sync point、cue、mark、region、slate position data の表示

メタデータエディタに入るには

メタデータエディタは2ページに渡って表示されます。More Info ボタンをクリックしてページを切り替えることができます。各ページはメタデータを論理的に分けて構築され、関連するファイルの内容を分析し、閲覧することを容易にします。1ページ目では、テイクリストとよく使われるメタデータフィールド間の移動に Tab キーを使うと、Take List > Scene > Take > Note と移動することができます。

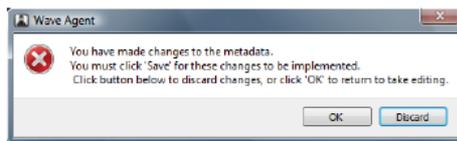
テイクのメタデータ編集

1つのテイク、あるいはテイクリスト全体のメタデータを編集することができます。

テイクごとに編集

個々のテイクを閲覧、編集するには：

1. テイクリストの中で個々のテイクをシングル・クリックしてハイライトさせます。あるいは、キーボードの上下キーでスクロール移動します。選択されたテイクのメタデータが、メタデータエディタに表示されます。
2. 編集可能なメタデータフィールドの内容を編集します。Save ボタンをクリックするか、Ctrl+S (Windows)、Apple+S (MAC) ショートカットキーで保存します。Save ボタンをクリックせずに、異なるテイクを選択してしまうと、「編集を破棄する(Discard)か、テイク編集に戻る(OK)か」を質問する警告メッセージが表示されます。



Windows OS



Mac OS

複数の mono トラックグループを編集している場合、Wave Agent は関連するすべてのファイルを変更します。

Batch 編集

1. テイクリストの中で複数のテイクを選択します。最後に選択されたテイクに関するメタデータ情報が表示されます。
2. 編集可能なメタデータフィールドの内容を編集します。Save ボタンをクリックするか、Ctrl+S (Windows)、Apple+S (MAC) ショートカットキーで保存します。Save ボタンをクリックせずに、異なるテイクを選択してしまうと、「編集を破棄する(Discard)か、テイク編集に戻る(OK)か」を質問する警告メッセージが表示されます。

重複テイクを防ぐ

メタデータが保存される時、Wave Agent はテイクリスト中に重複する scene/take の組合せがないかスキャンします。もし重複する場合は、「続けるかキャンセルするか」を質問する警告メッセージが表示されます。



Windows OS



Mac OS

OK をクリックすると続けます。Wave Agent は重複するテイクのシーンネームに+マークを付加します。これはテイクが重複したことを意味するマークです。

テイクリストの中ですべての重複したテイクをグループ化するにはシーンネームでソートしてください。

Cancel をクリックすると全てのメタデータは元の状態に戻ります。

トラックネームの編集とファンクション

トラックネームとファンクションは、メタデータエディタで閲覧と編集できます。

1. テイクリストで、1つ、あるいは複数のテイクを選択してハイライト状態にします。
2. メタデータエディタの Track Infor に移動します。編集したい任意のチャンネルの Track Name がファンクションのテキスト入力ボックスをクリックします。
3. テキストカーソルが表示されたら、Track Name やファンクションを編集します。
4. 別のどこかをクリックするか、Enter キーか Tab キーを押して、テキスト編集を終了させます。
5. Save ボタンをクリックするか、Ctrl+S (Windows)か Apple+S(Mac) キーを押して保存します。

Batch Track Info 変種は同じチャンネル数のテイクだけに適用されます。

サンプリングレートとフレームレートの編集

録音された単体の WAV ファイルかグループファイルに記録されたサンプリングレート、タイムコードフレームレートスタンプ、を変更することができます。タイムコードを編集するとファイルに記録されたタイムコードのメタデータが変更されます。また、サンプリングレートを変更するとファイルの再生スピードが変わります。これらの機能はポストプロダクションで発生する様々な問題を解決することができますが、使い方を誤ると問題を発生する恐れがあります。

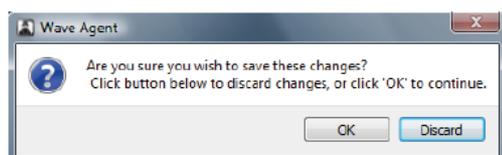
注意して使用してください！

ファイルサンプルレート、フレームレートを変更する前に、「Preserve Start TC」のチェックボックスにチェックマークに注目してください。チェックが入っていると、Start TC (HH:MM:SS:FF)は変更されません。 ; Wave Agent は Start TC を保持するために Midnight stamp からの Sample 数を再計算します。Start TC を保持することによって、カメラや他のタイムコード機器との同期が一致します。デフォルトでは Preserve Start TC のチェックマークが入っています。

チェックマークが外されると、サンプリングレートや TC フレームレートの変更によって、Midnight stamp からの Sample 数を保持するために Start TC を再計算します。特別な理由があって Start TC を再計算させたい場合を除き、この方法を使用しないでください。

サンプリングレートを変更することにより、Wave Agent は広範囲なスピードレンジにわたって再生することができます。

フレームレートを編集するには、ドロップダウンボックスをクリックしてリストから選択してください。サンプリングレートとフレームレートを変更したら、Save ボタンをクリックしてください。次のメッセージが表示されます。



Windows OS



Mac OS

異なるスピードで再生

サンプリングレートのメタデータを変更することによって、Wave Agent は異なるスピードでテイクを再生します。例えば 96kHz で録音されたファイルのサンプリングレートを 48kHz に変更すると、再生音は録音された時の半分のピッチで再生されます。このテクニックは特別な効果音を作成する場合に使われることがあります。標準ではないサンプリングレートに使用することもできます。サンプリングレートを変更するには...

1. サンプルレートの枠で、2,000 ~ 200,000 (200kHz)までの数値を入力して、Enter を押してください。
2. サンプリングレートの編集値をテイクに適用するために、Save ボタンをクリックしてください。

再生スピードは、コンピュータのサウンドカードのハード的な能力に依存します。

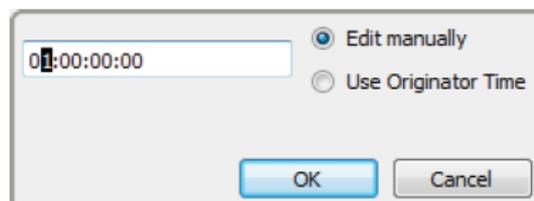
タイムコード開始時間の編集

Start Time Code の値はメタデータエディタで閲覧、編集することができます。タイムコードを持たないスタンダード WAV ファイルを Wave Agent でロードして、Broadcast WAV ファイル (WAV エクステンションを持つ) に変換してセーブすることができます。これはメタデータ (iXML と bEXT) と呼ばれる情報をファイルのヘッダに追記するという意味です。

Start Time Code の値は Batch 編集をサポートしていません。もし複数のテイクがテイクリストでハイライト状態にあるとき、新しい Start Time Code の値はメタデータエディタで表示されている現在のファイルだけに適用されます。

Start Time Code の値を編集するには...

1. テイクリストで1つのテイクを選択してください。
2. メタデータエディタの Start TC にある EDIT ボタンをクリックしてください。
3. Start TC 編集画面が表示されるので、Edit manually (ステップ 4a) か Use Originator Time (ステップ 4b) を選択してください。



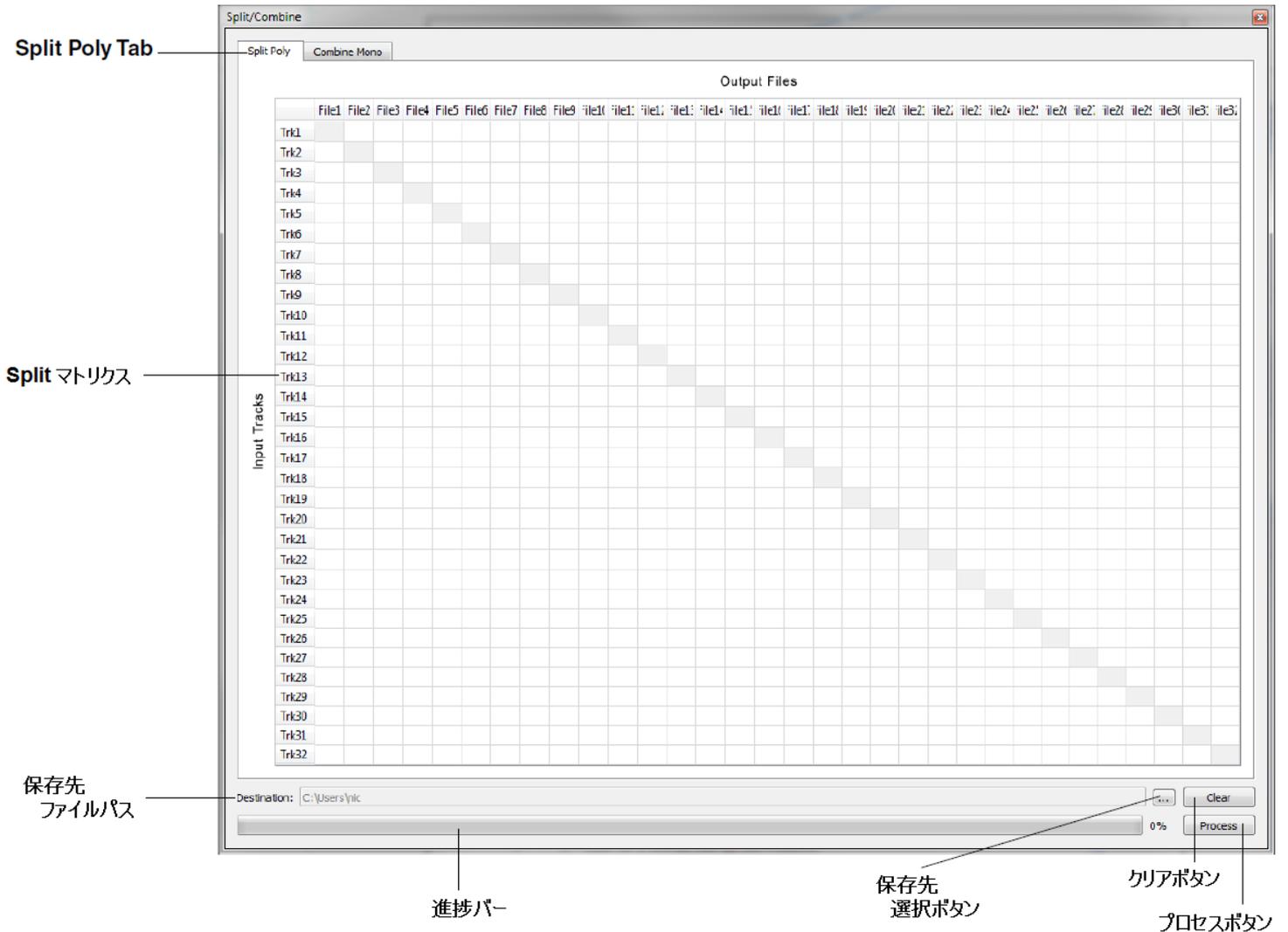
- 4a. もし Edit manually を選択したら、HH:MM:SS:FF の各タイムコードフィールドの2桁の数字を入力してください。時間 (HH) は 23 を超えられません。分、秒は 59 を超えられません。フレームは設定されたフレームレートを超えて入力することはできません。もしフレームレートが 30 に設定されていれば 29 を超えることはできません。
- 4b. もし Use Originator Time を選択したら、テイクが録音された時のオリジナル時間が自動的に入力されます。もし Originator Time が使用できない場合は、マニュアルで入力 (ステップ 4a) しなければなりません。
5. OK をクリックして Start TC Edit 画面を終了します。
6. Save をクリックするか、Ctrl+S (Windows)か Apple+S (MAC) キーを押して変更を保存してください。

Split / Combine 画面

スプリット/コンバイン画面は、ポリフォニックファイルを分割、モノフォニックファイルのグループを1つのポリフォニックファイルへ結合するためのものです。

Split / Combine 機能は Combine Mono Manual モードを除くテイクリストの全テイクに適用されます。

Split Poly 画面



Wave Agent はテイクごとに 32 トラックまでスプリット・コンバイン・再生ををサポートします。この説明書の Split / Combine の図は紙面の都合上トラック数が少ないです。上のスクリーンショットは、Split / Combine 画面が拡張表示されたものを示しています。

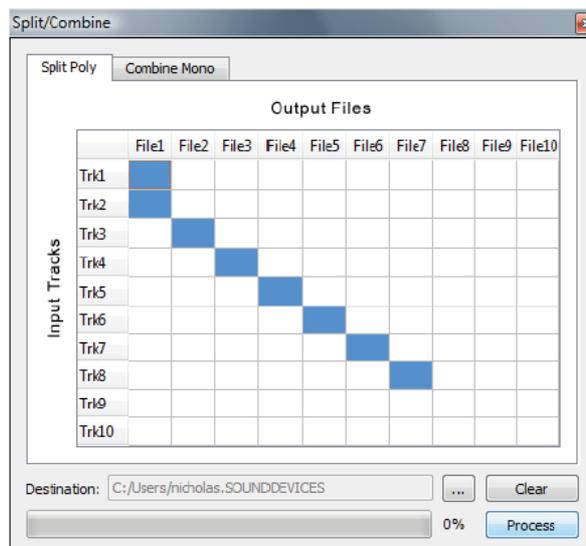
1. **Split Poly タブ**
クリックすると Split Poly 画面が表示されます。
2. **Split マトリクス**
入力トラックから目的先のファイルへ指定するためにセルをクリックしてください。青くハイライトされたセルは、トラックからファイルへルーティングされていることを示します。
3. **Destination (保存先ファイルパス)**
Split ファイルの保存先が表示されます。
4. **保存先選択ボタン**
Split ファイルが保存されるフォルダを指定する際にボタンをクリックしてください。
5. **Clear ボタン**
マトリクスをクリア (削除) するためのボタン
6. **Process ボタン**
テイクリスト中の全テイクのスプリット / コンバインを開始するためのボタン
7. **進捗バー**
スプリット / コンバイン中の状況を表示します。

Poly ファイルのスプリット

Split Poly パネルを使用してテイクリストから選択されたポリフォニックファイルをモノファイルへ分割します。マトリクスでは、どのトラックがグルーピングされて、どのトラックが分割されるかを決定されます。マトリクスではどの組み合わせのポリ形式、モノ形式にも分割することができます。

1. Split Poly パネルの Split Poly タブを選択します。
2. 分割されるファイルが保存されるフォルダを選択します。
3. Input トラックを任意の Output ファイルへルーティングするには、該当箇所のマトリクス・セルをクリックします。

例えば、8 トラックのポリ形式ファイルを、ステレオトラック 1,2 と独立 (モノ) トラック 3 - 8 に分割します。Wave Agent の Split Poly 機能を使うと、1 つのステレオ・ポリファイル (track 1,2) と 6 つのモノファイル (track 3 - 8) へ分割することができます。このような分割を行う場合の例を、次の図で示します。

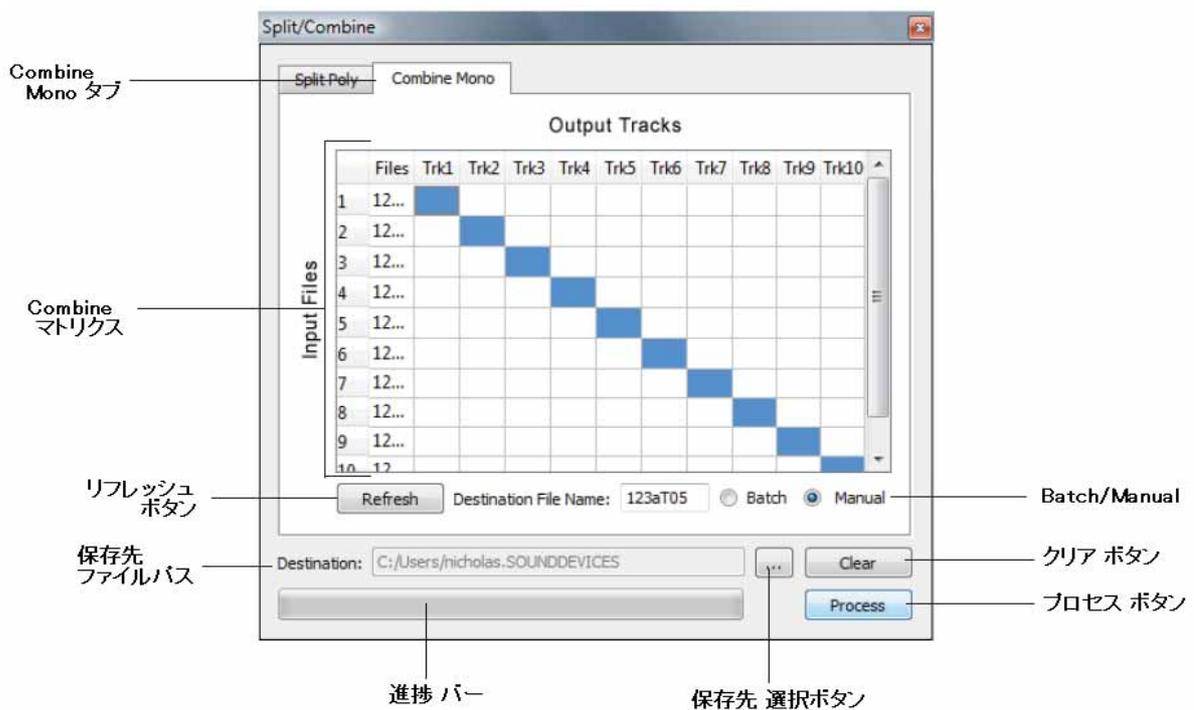


デフォルトでは、track1 は file1 に、track2 は file2 へルーティングされています。このままでは、1つのトラックが1つのファイルへと、ポリフォニックからモノフォニックへ分割されるだけです。

Wave Agent は、トラックが見分けられるように、分割後のファイル名の最後に自動的に名前を追記します。たとえば、1つの 8track ポリ型ファイル S001T01.wav を4つの 2-channel ポリ型ファイルへ分割すると次のような結果になります。

S001T01_1_2.wav
 S001T01_3_4.wav
 S001T01_5_6.wav
 S001T01_7_8.wav

Combine Mono 画面



1. **Combine Mono タブ**
コンバイン画面を表示するためのタブです。
2. **Combine マトリクス**
Input モノファイルを Output トラックヘルパーティングするためのマトリクスです。
3. **Destination File Path**
結合したファイルの保存先を表示します。
4. **保存先 選択ボタン**
結合したファイルの保存先フォルダを指定する際にこのボタンをクリックします。
5. **Clear ボタン**
マトリクスの設定を削除します。
6. **Process ボタン**
結合作業を実行する際にクリックします。
- 7.
8. **進捗バー**
結合ファイル作成の進み具合を示します。
9. **Destination File Name**
結合されたファイルが保存される時に付けられるファイルネームです。
10. **Batch**
テイクリストの中の全ファイルを Wave Agent が自動的に実行するために選択します。
11. **Manual**
Mono ファイルへ任意のパターンでルーティングするモードです。
12. **Refresh ボタン**
テイクリストがリロードされた時にマトリクスを最新の状態で表示させるボタンです。

ファイルのコンバイン

Combine Mono 機能は、分割された関連するモノ形式 WAV ファイルを 1 つのポリフォニック形式ファイルへ結合するものです。これはトラックの並び順を変更することもできます。編集者の好みにより映像編集のタイムラインに合わせて最初のトラックにミックストラックを置きたい時に便利です。結合前に、Wave Agent は自動的にモノ形式ファイル(複数)が同じ録音テイクによって作成されたかどうかを判断します。

Wave Agent でファイルを結合するには 2 つの方法があります。

- ・ テイクリストの全てのファイルを自動的に Batch 結合します。
- ・ 手動で任意の組み合わせでファイルを結合します。

Batch 結合するには...

1. テイクリストに結合したいファイルをインポートします。
2. Split/Combine パネルの Combine Mono タブを選択します。
3. Batch を選択します。
4. 保存先のフォルダを指定します。
5. マトリクス・セルをクリックして各 Input モノファイルを Output トラックヘルパーティングします。青く表示されているセルが、現在ルーティングされていることを示します。

Batch モードでは、自動的に保存されるファイルへアンダースコアで区切られてファイル名の末尾にトラック番号の ID が振られます。

たとえば、s001t1_1.wav s001t1_2.wav、s001t1_3.wav、s001t1_4.wav をトラック 1 から 4 に結合すると、1 つのポリ型ファイル s001t1_1_2_3_4.wav が作成されます。

ヒント：リネーム機能で s001t1_1_2_3_4.wav を s001t1.wav と名前を変更することができます。

手動で結合するには...

1. テイクリストに結合したいファイルをインポートします。
2. Split/Combine パネルの Combine Mono タブを選択します。
3. Manual を選択します。

4. 保存先のフォルダを指定します。
5. Destination File Name ボックスに、保存されるファイル名を入力します。



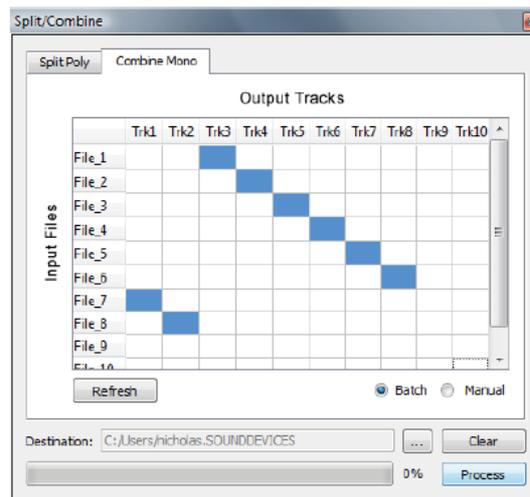
マトリクス・セルをクリックして各 Input モノファイルを Output トラックへルーティングします。青く表示されているセルが、現在ルーティングされていることを示します。

もし関連しないファイルを結合しようとする、Wave Agent は「Selected Files cannot be combined」とレポートを表示します。

結合してトラックを並べ替える

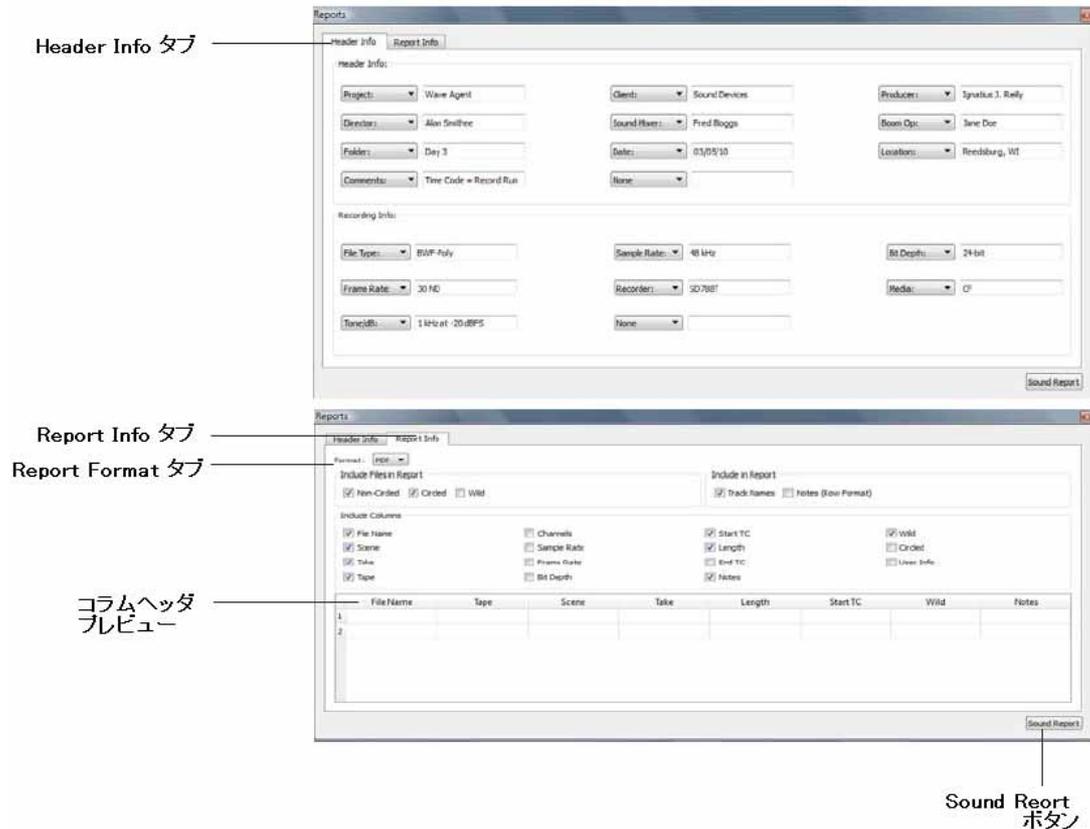
コンバイン・マトリクスはトラックを並べ替えることができます。例えば、Track7,8 にミックス録音されたものを Track1,2 に移動することができます。これは、AVID タイムラインの最初に現れるミックストラックを好む AVID を使用するユーザーからしばしば要望されます。

例えば、Track7,8 にミックス録音された 8 つのモノ形式ファイルを、2 チャンネルミックスのトラックと Track 1 -6 のアイソレートトラックに変換する場合があります。2 チャンネルミックスを Track1,2 に、Track 1-6 を Track 3-8 にシフトさせるように、マトリクス・セルを設定します。



レポート画面

レポート画面はサウンドレポートを作成する作業を単純化します。サウンドレポートはカスタマイズすることができ、PDF ファイルか CSV(Comma Separated Value)ファイルに出力することができます。レポート画面は2つのタブ・ページに分かれています。



Header Info タブ

録音パラメータ、コンタクト、プロジェクトの詳細を表示、選択するためにクリックします。関連するドロップダウンボックスをクリックすることにより、サウンドレポートの各フィールドを表示させるための情報を選択してください。

Report Info タブ

レポートに含まれるコラムヘッダを選択するためにクリックします。ファイルネーム、シーン、テイク、テープ、チャンネル、サンプルレート、フレームレート、ビット長、スタート TC、長さ、エンド TC、ノート、ワイルドトラック、サークル、トラック Info からレポートに出力させたい項目を選択してください。テイクリストにある全テイク、あるいはサークルテイクだけ、またはサークルテイク以外とワイルドトラック・・・などの組合せでレポートを出力することができます。

Report Format 選択

作成されるサウンドレポートのフォーマットを選択します。ドロップダウンメニューで PDF か CSV を選択してください。PDF レポートは Track Info コラムを含む 15 個のコラムヘッダで構成されます。CSV レポートはコラムヘッダ数に制限は無く、スプレッドシートでデザインされるアプリケーションソフトへインポートすることができます。

コラムヘッダ プレビュー

選択されたコラムヘッダのレイアウトデザインをプレビュー表示します。

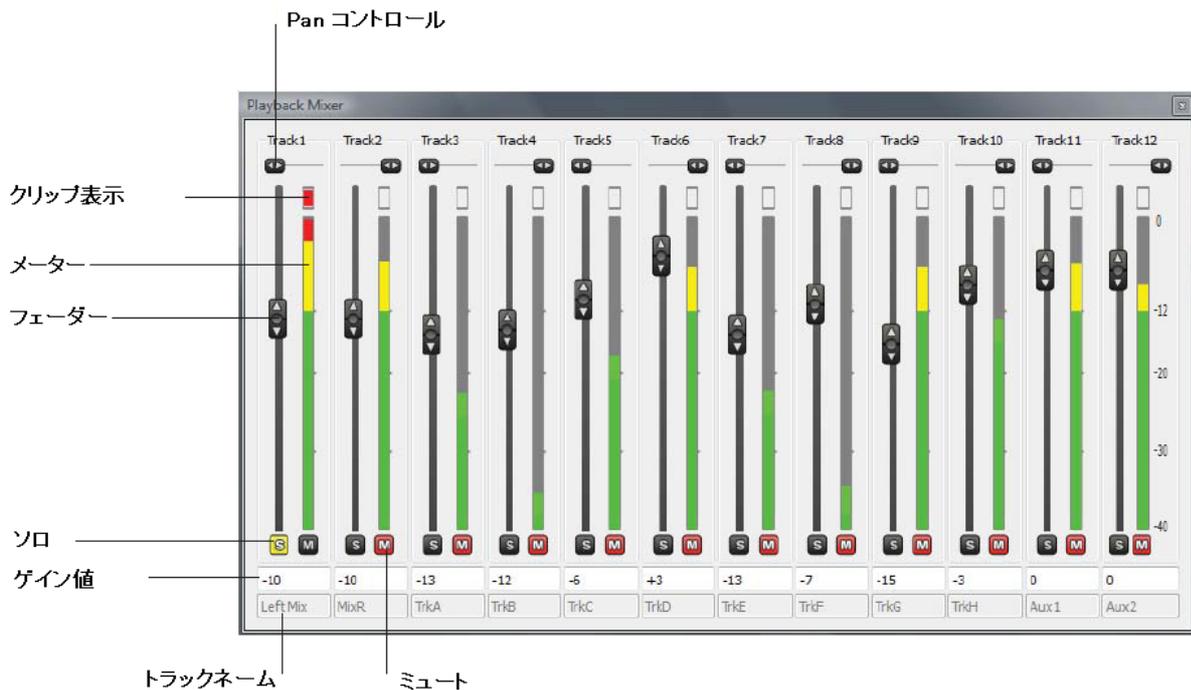
Sound Report ボタン

ボタンをクリックするとサウンドレポートを出力します。

再生用ミキサー

再生用ミキサーは複数チャンネルのモニタリングとメーターレベル表示、再生レベルの調整ができます。フェーダーとPAN コントロールにより、コンピュータのサウンドカードへリアルタイムなミックスを可能にします。チャンネルソロとミュートは個々のチャンネルかチャンネルグループに適用されます。ソースの判別に便利なトラックネームはメーターコラムの下に表記されています。再生用ミキサー画面は再生中に自動的に開くようにプリファレンスで設定することができます。

メーターは常にプリフェーダーレベルを示します。



Pan コントロール

トラックごとに左 / 中央 / 右にパンコントロールできます。

クリップ表示

レベルがオーバーロードすると点灯します。

メーター

高解像度プリフェーダーメーター

フェーダー

- 48dB から+12dB まで、ドラッグして上下にトラックゲインを調整できます。

ソロ

クリックしてトラックをソロモニターできます。

ゲイン

現在のゲインレベルを示します。ゲインは -48dB から+12dB まで入力できます。

トラックネーム

チャンネルのトラックネームが表示されます。

ミュート

クリックするとトラックをミュートします。

コントロールモード

Wave Agent の Control モードは、788T か 788T-SSD を USB 経由で Wave Agent に接続することができます。788T のトラックメーター、タイムコード、様々なセッティングを表示することができます。Wave Agent は 788T の録音、停止を行うことができます。また、前、現在、次に録音されるファイルに関するメタデータを編集することができます。788T は USB ケーブル経由で音声信号を送ることはできないので、788T のオーディオは 788T 本体でモニターしなければなりません。Wave Agent が Control モードで作動中に、コンピュータのサウンドカードへオーディオ信号を送ることはできません。

プルダウンメニュー内の、Control Mode は次の場合にクリックできません。788T が正しく接続されていない場合や、788T にインストールされているバージョンが Wave Agent と互換性を持たない場合は、グレイ色になって Control Mode をクリックできません。



788T の Setup メニューで次のように設定されていると、「FireWire/USB: Connect to Wave Agent」C.Link In ポートは使用できません。788T を複数台リンク接続や、オプションの CL-1、CL-2 は、このモードではサポートされません。

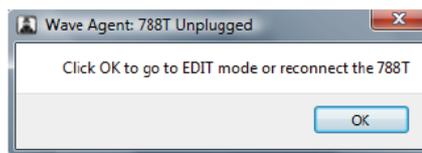
788T(FW2.10+) を Wave Agent に接続するには次の手順を行ってください。

1. 788T の Menu で、FIREWIRE/USB: CONNECTION に入ります。
2. CONNECT TO WAVE AGENT (USB ONLY) を選択します。
3. 788T の USB-B ポートに接続し、もう一方をコンピュータの USB-A ポートに接続します。
4. Wave Agent を起動します。
5. メニューの Mode をプルダウンし、Control Mode オプションを選択します。メーターモードオプションは、788T が正常に接続されていないとグレイ色でクリックできません。

このモードには、メーター画面、トランスポート画面、テイクリスト画面の3つがあります。デフォルトではメーターとトランスポートの画面は合体しています。メーター画面が主画面なので、この画面を閉じると Wave Agent も一緒に閉じられます。トランスポート画面を閉じるには、垂直分割の右側にある X マークをクリックしてください。メーター画面から分離させるには、トランスポート画面をドラッグして引き離すか、X マーク左横にある「Restore Down」アイコンをクリックしてください。分離されるとユーザープレファレンスへリサイズされます。



次の警告画面は、コンピュータと 788T の間の USB 接続が切り離されたときに表示されます。OK をクリックして EDIT モードへ切り替えるか、USB ケーブルを再接続してください。



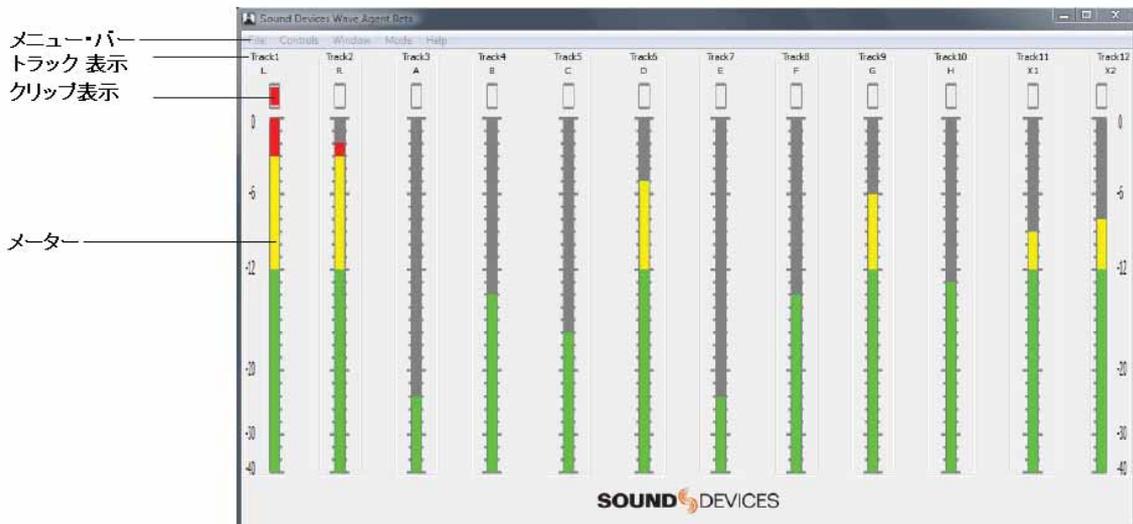
Wave Agent のコントロールモードを使う時の注意点

次に示すポイントは、788T と Wave Agent Control Mode をベストパフォーマンスで御使用いただくための推奨設定です。

- Wave Agent ソフトウェアと 788T のファームウェアは、最新版であることを確認してください。
- 1つ、または2つのメディアに録音してください。
- Poly 形式ファイルで録音してください。
- ハードドライブ、SSD、ハイパフォーマンスなコンパクトフラッシュカードに録音してください。
- 通常の方法で 788T のメディアをフォーマットしてください。
- Wave Agent のテイクリストの中のシステムステータスメッセージが消えるまで、追加編集を行わないでください。
- 既に録音されたテイクに対してメタデータ編集を行う場合は、788T がスタンバイモード中に変更されることが望ましいです。録音中に過去のテイクが編集されると、複数のファイルが同時に開かれることになり、Media Slow のエラーメッセージが表示される可能性が高くなります。

Control Mode のメーター画面

メーターモードのメーター画面は、接続されている 788T の全 12 トラックのレベルを監視することができます。



メニュー・バー

様々なコマンドと機能にアクセスするためにドロップダウンすることができます。(Meter Mode Menu Bar で詳細が記述されています。)

トラック表示

トラック番号と 788T のトラックに関連する文字が表示されています。

クリップ表示

クリップ / オーバーロードすると表示します。

メーター

高解像度トラックメーター。接続されている 788T の Menu で設定されたメーターバリスティクス、ピークホールド・タイムが反映されます。

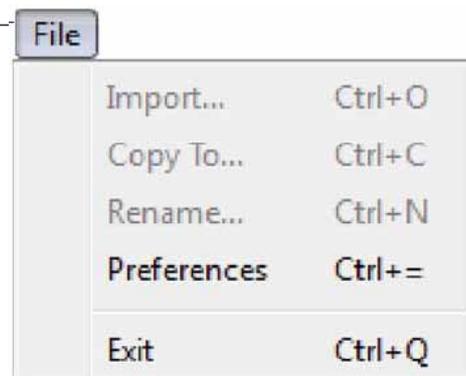
Control Mode のメニュー・バー

コントロールモードに関する様々なコマンドと機能へ、ドロップダウンしてアクセスすることができます。

Windows メーターモードのメニュー

File Menu

ファイルメニュー、Wave Agent を終了といった機能にアクセスできます。



Controls Menu

接続された 788T を、停止、録音させるためのリモートコントロールにアクセスできます。

Controls

| | |
|--------|-------|
| Stop | F3 |
| Record | Alt+R |

Window Menu

ウィンドウメニューから、トランスポート画面、テイクリスト画面にアクセスできます。Restore Default Layout で画面レイアウトをファクトリーデフォルトにリセットすることができます。

Window

| | |
|------------------------|--------|
| Transport | Ctrl+T |
| 788T Take List | Ctrl+L |
| Restore Default Layout | |

Mode Menu

Wave Agent の全体的な操作モードを選択することができます。Control Mode は、788T (FW2.10+) が USB ケーブルでコンピュータに接続され、788T の Setup メニューで、Connect to Wave Agent に設定された時だけ選択することができます。

Mode

| | |
|----------------------------------|--------------|
| <input type="radio"/> | Edit Mode |
| <input checked="" type="radio"/> | Control Mode |

Help Menu

Wave Agent ユーザーガイドと技術情報、Sound Devices WEB ページ、現在のソフトウェアバージョンにアクセスできます。

Help

| | |
|------------|----|
| User Guide | F1 |
| Support | |
| About | |

Mac メーターモードのメニュー

Wave Agent Menu

Wave Agent メニューでは以下の設定にアクセスできます。

- ・ Software バージョン
- ・ プリファレンスメニュー
- ・ Mac Services メニュー
- ・ Wave Agent ほかのアプリケーションを Hide / show
- ・ Wave Agent を終了



File Menu

メーターモードではすべての項目がグレイ色でクリックできません。



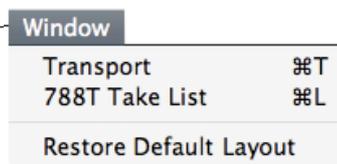
Controls Menu

接続された 788T を停止、録音のリモートコントロールを行います。



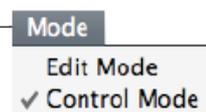
Window Menu

トランスポート画面とテイクリスト画面を表示します。画面配置をファクトリーデフォルトにリセットします。



Mode Menu

Wave Agent の全体的な操作モードを選択することができます。Meter Mode は、788T (FW2.10+) が USB ケーブルでコンピュータに接続され、788T の Setup メニューで Connect to Wave Agent に設定された時だけ選択することができます。



Help Menu

Wave Agent ユーザーガイドと技術情報、Sound Devices WEB ページ、現在のソフトウェアバージョンにアクセスできます。



Control Mode のトランスポート

メーターモードのトランスポート画面は、接続された 788T のタイムコード値のカウント、絶対時間、タイムコードフレームレート、ビット長、サンプリングレート状況を示します。メーターモードのトランスポート画面では、接続された 788T の停止と録音をリモートコントロールすることができます。



ビット長

接続された 788T のビット長を表示します。

サンプルレート

接続された 788T のサンプルレート設定を表示します。

タイムコード・カウンタ

接続された 788T のタイムコードジェネレータ、あるいは受信したタイムコードの値を HH:MM:SS:FF で表示します。788T が再生中でもタイムコードディスプレイはジェネレータ、あるいは受信したタイムコード値を示します。

フレームレート表示

接続された 788T のタイムコードフレームレートを表示します。

絶対時間・カウンタ

テイクが開始してからの経過時間を示します。788T が録音中あるいは再生中に値が進行します。

録音インジケータ

接続された 788T が録音状況にあるときに表示します。

停止ボタン

接続された 788T を録音、あるいは再生状態から停止させます。

録音ボタン

接続された 788T の REC ボタンと同じ役割です。

Control Mode の Take List 画面

コントロールモードの Take List 画面は、接続されている 788T の前、現在、次に録音されるテイクのメタデータを閲覧、編集することができます。Take List 画面はデフォルトでは表示されないため、Control Mode で Window メニューからプルダウン選択するか、Windows ショートカットキー Ctrl+L か、Mac ショートカットキー Apple+L で表示させる必要があります。788T 本体のテイクリストと同じく、メタデータの変更されたすべてのメディアのテイクは編集後に書き換えられます。

編集後のテイクリストが構築されるまでの時間は、788T 上のメディアにどのくらいのファイル数があるかに依存します。テイクリスト構築中に録音を開始すると、プロセスが遅延するか、テイクリストの再構築が必要になるかもしれません。

デフォルトでは、Next、Current、Previous の 3 つがテイクリストとして表示されます。合計 10 個のテイクリストを表示させるためには、Wave Agent Preference で、Show Last 10 Takes をクリックしてください。Wave Agent は、「コピー」と「ペースト」をサポートするので、メタデータをクイックに編集するのに活用できます。

便利： 788T の Setup メニューで、Scene ネーム、Scene 番号を変更している方は、Wave Agent の Take List 画面から、Next Scene を新しく変更することができて便利です。

次テイク
現在のテイク
前のテイク

788T Take List[Preview]

| | NEXT | CURRENT | PREVIOUS |
|-----------|------------|--------------------------|-------------------------------------|
| FILE NAME | 024CT2.WAV | 024CT1.WAV | @024BT3.WAV |
| START TC | | 02:09:07:00 | 02:01:36:00 |
| SCENE | 024C | 024C | 024B |
| TAKE | 2 | 1 | 3 |
| NOTES | | dog barking | head slate |
| CIRCLE | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |

False

Writing to media. Please wait...

788T Take List

| | NEXT | CURRENT | PREVIOUS | PREV-1 | PREV-2 | PREV-3 | PREV-4 | PREV-5 | PREV-6 | PREV-7 |
|-----------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------------------|
| FILE NAME | GTT21.WAV | GTT20.WAV | GTT12.WAV | GTT11.WAV | GTT10.WAV | GTT09.WAV | GTT08.WAV | GTT07.WAV | GTT06.WAV | @GTT05... |
| START TC | | 00:53:56:00 | 00:50:03:00 | 00:49:57:00 | 00:49:37:00 | 00:49:33:00 | 00:49:28:00 | 00:49:22:00 | 00:49:15:00 | 00:48:56:00 |
| SCENE | GT |
| TAKE | 21 | 20 | 12 | 11 | 10 | 09 | 08 | 77 | 06 | 05 |
| NOTES | | | | | | | | | good take! | |
| CIRCLE | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |

False

ファイルネーム

スタートTimeCode

シーンネーム

テイクナンバー

ノート

サークルテイク

システムステータス

ファイルステイク・ボタン

PREV 1-7テイク (Show Last 10 Takes)

Next テイク

REC ボタンが押されると作成されるテイク内容が表示。

Current テイク

現在、あるいは最後に作成されたテイクに関する内容を表示。録音中は、CURRENT という文字が赤くなり、停止すると黒色になります。

Previous テイク

現在のテイクより前のテイク内容を表示。

PREV 1-7 テイク表示

Preference の設定で、Show Last 10 Takes をクリックすると、デフォルトの 3 テイク表示が、10 テイク表示に切り替わります。

ファイルネーム

Next、Current、Previous テイクのファイルネームを表示します。Poly でなく Mono 形式で録音する場合は、Next ファイル名には、_x が含まれます。

スタート TimeCode

Current と Previous テイクのスタートタイムコード値が表示されます。

シーンネーム

Next、Current、Previous テイクのシーンネーム。クリックするとネームを編集することができ、編集したテキストは自動的にファイル名にも付加されます。Current シーンを変更すると、Next シーンもアップデートされます。Next シーンを編集するときは、788T がスタンバイモードでなければなりません。

テイクナンバー

Next、Current、Previous テイクのナンバーが表示され、クリックすると数値を編集できます。788T の Setup メニュー設定次第で、シーンネームを変更すると自動的にテイクナンバーがリセットされることがあります。Current テイクナンバーが変更されると、Next テイクナンバーもアップデートされます。

ノート

Next、Current、Previous テイクのノートフィールドを表示、編集できます。

サークルテイク

テイクのサークル・ステータスを表示、編集できます。サークルのセルが選択されているときに、ボックスをクリックするか、スペース・キーでステータスを反転できます。

システム・ステータス

システムがビジーの時、様々なメッセージを表示します。メッセージが消えるまで追加編集を待って、編集結果が反映されるのを確認してください。

ファイルステイク・ボタン

788T がスタンバイ中で、Current テイクコラムのセルが選択されていれば、False ボタンをクリックして、メディアの FALSETAKES フォルダに移動して、テイクナンバーを 1 つ下げます。**メタデータ編集後、ファイルステイク機能は使用できません。**

Take List 画面での操作

| 操作 | 結果 |
|--------------|---|
| マウス シングルクリック | セルを選択 (ハイライト状態) |
| マウス ダブルクリック | セルを選択し、テキスト編集。 |
| Enter キー | 編集を保存して終了。セルの中を編集テキスト入力 (Mac のみ) |
| ESC キー | テキスト編集を保存せずに終了。 |
| カーソルキー | ハイライト状態を上。 |
| カーソルキー | ハイライト状態を下。 |
| カーソルキー | ハイライト状態を左に。 またはテキストカーソルを左に。 |
| カーソルキー | ハイライト状態を右に。 またはテキストカーソルを右に。 |
| Tab キー | ハイライト状態を右に。 テキスト編集中に Tab を押すと、テキストが変更されて隣のセルへ移動。 |
| Shift + Tab | ハイライト状態を左に。 テキスト編集中に Shift+Tab で、テキストが変更されて前のセルへ移動。 |
| スペース・キー | ハイライト状態のセルのサークル状態をトグル切替。 |

補足 1 メタデータ実装表

| Metadata | Read | Edit | Batch Edit |
|---|------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| GENERAL INFO | | | |
| Current Name / File Name *See Note Below | ✓ | ✓ | ✓ |
| Channels | ✓ | | |
| Project | ✓ | ✓ | ✓ |
| Roll (Tape) | ✓ | ✓ | ✓ |
| Scene | ✓ | ✓ | ✓ |
| Take | ✓ | ✓ | |
| Circle Take | ✓ | ✓ | ✓ |
| Wild Track | ✓ | ✓ | ✓ |
| RECORDING INFO | | | |
| File Sample Rate | ✓ | ✓ | ✓ |
| Bit Depth | ✓ | | |
| Digitizer Sample Rate | ✓ | | |
| TC Frame Rate | ✓ | ✓ | ✓ |
| Start Time Code (Samples since Midnight) | ✓ | ✓ | Updated by Wave Agent |
| Duration | ✓ | Updated by Wave Agent | Updated by Wave Agent |
| U-Bits | ✓ | ✓ | ✓ |
| Time Code Sample Rate | ✓ | Updated by Wave Agent | Updated by Wave Agent |
| TRACK INFO | | | |
| Channel Index | ✓ | Edited when splitting and combining | Edited when splitting and combining |
| Interleave Index | ✓ | Edited when splitting and combining | Edited when splitting and combining |
| Track Function | ✓ | ✓ | ✓ |

| | | | |
|------------------------|--|---|---|
| Track Name | ✓ | ✓ | ✓ |
| Notes | ✓ | ✓ | ✓ |
| ORIGINATOR INFO | | | |
| Originator | ✓ | Generated when converting a standard WAV to a BWF | Generated when converting a standard WAV to a BWF |
| Creation Date | ✓ | | |
| Creation Time | ✓ | | |
| Originator Reference | ✓ | Generated when converting a standard WAV to a BWF | Generated when converting a standard WAV to a BWF |
| Software Revision | Reads Sound Devices 7-Series software revision | | |
| FILE SET INFO | | | |
| Family UID | ✓ | ✓ | ✓ |
| Family Name | ✓ | | |
| Total Files | ✓ | ✓ | ✓ |
| File Set Index | ✓ | ✓ | ✓ |
| HISTORY | | | |
| Original File Name | ✓ | Generated when converting a standard WAV to a BWF | Generated when converting a standard WAV to a BWF |
| Parent UID | ✓ | Created when splitting a polyphonic | Created when splitting a polyphonic |
| Parent Name | ✓ | Created when splitting a polyphonic | Created when splitting a polyphonic |
| SYNC POINTS | | | |
| Type | ✓ | | |
| Function | ✓ | | |
| Comments | ✓ | | |
| TC | ✓ | | |
| Duration | ✓ | | |

Current のファイルネームは、BEXT/IXML メタデータを含んで保存されたファイルの名前です。ファイルネームは、コンピュータのエクスプローラで見ると実際に同じものです。通常、Current ネームとファイルネームは同じです。もし異なる場合は、Wave Agent で解決すべき矛盾としてハイライト表示されます。この矛盾は、埋め込まれたメタデータを更新しないアプリケーションによってファイル名を変更されたときに起こります。例えば、Windows の Explorer か Mac Finder など。

補足 2 キーボードショートカット

| 機能 | Windows キー | Mac キー |
|---------------------------------|-------------------|--------------------|
| Save | Ctrl + S | Apple + S |
| Wave Agent 終了 | Ctrl + Q | Apple + Q |
| インポート | Ctrl + O | Apple + O |
| コピー | Ctrl + C | Apple + C |
| リネーム | Ctrl + N | Apple + N |
| ストップ | F3 | F3 |
| 録音 (Control Mode Only) | Alt + R | Option + R |
| 再生 / ポーズ | スペース・キー | スペース・キー |
| トランスポート画面 | Ctrl + T | Apple + T |
| Split / Combine | Ctrl + I | Apple + I |
| レポート | Ctrl + R | Apple + R |
| 再生用ミキサー | Ctrl + M | Apple + M |
| 788T テイクリスト (Control Mode Only) | Ctrl + L | Apple + L |
| テイクリストから Clear Take | Delete | Fn + Delete |
| テイクリストを上へ移動 | | |
| テイクリストを下へ移動 | | |
| メタデータ項目を移動 | Tab か Shift + Tab | Tab か Shift + Tab |
| ユーザーガイド | F1 | Apple + ? |
| プリファレンス (Preference) | Ctrl + = | Apple + , |
| Wave Agent を隠す | | Apple + H |
| 他のアプリケーションを隠す | | Option + Apple + H |

補足 3 Sound Report PDF サンプル

Sound Report

Project: WaveAgent **Client:** Sound Devices **Producer:** Ignatius J. Reilly
Director: Alan Smithee **Sound Mixer:** Fred Bloggs **Boom Op:** Jane Doe
Folder: Day 3 **Date:** 03/05/10 **Location:** Reedsburg, WI
Comments: Time Code = Record Run **File Type:** BWF-Poly **Sample Rate:** 48 kHz
Bit Depth: 24-bit **Frame Rate:** 30 ND **Recorder:** SD788T
Media: CF **Tone/dB:** 1 kHz at -20 dBFS

| File Name | Tape | Scene | Take | Length | Start TC | WT | Circ | Notes | T1 | T2 | T3 | T4 | T5 | T6 | T7 | T8 |
|-----------|----------|-------|------|----------|-------------|----|------|-------------------------|------|------|------|-----|------|-----|--------|----------|
| 104AT01 | 10Y03M05 | 104A | 01 | 00:01:08 | 01:00:00:00 | | | traffic noise at end | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 104AT02 | 10Y03M05 | 104A | 02 | 00:00:45 | 01:01:08:00 | | | NG | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| @104AT03 | 10Y03M05 | 104A | 03 | 00:01:13 | 01:01:53:00 | Y | | | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 104AT04 | 10Y03M05 | 104A | 04 | 00:01:31 | 01:03:06:00 | Y | | atmo | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 104BT01 | 10Y03M05 | 104B | 01 | 00:00:36 | 01:04:37:00 | | | wind noise | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 104BT02 | 10Y03M05 | 104B | 02 | 00:00:26 | 01:05:13:00 | | | NG | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| @104BT03 | 10Y03M05 | 104B | 03 | 00:00:44 | 01:05:39:00 | Y | | | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 104CT01 | 10Y03M05 | 104C | 01 | 00:00:49 | 01:06:23:00 | | | NG | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 104CT02 | 10Y03M05 | 104C | 02 | 00:00:41 | 01:07:12:00 | | | helicopter noise | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| @104CT03 | 10Y03M05 | 104C | 03 | 00:00:48 | 01:07:53:00 | Y | | | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 104CT04 | 10Y03M05 | 104C | 04 | 00:00:53 | 01:08:41:00 | | | NG | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 105AT01 | 10Y03M05 | 105A | 01 | 00:00:16 | 01:09:34:00 | | | coughing | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| @105AT02 | 10Y03M05 | 105A | 02 | 00:00:21 | 01:09:50:00 | Y | | | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 105AT03 | 10Y03M05 | 105A | 03 | 00:00:40 | 01:10:11:00 | Y | | atmo | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| @105BT01 | 10Y03M05 | 105B | 01 | 00:00:34 | 01:10:51:00 | Y | | | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 105BT02 | 10Y03M05 | 105B | 02 | 00:00:55 | 01:11:25:00 | | | NG | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 105BT03 | 10Y03M05 | 105B | 03 | 00:00:11 | 01:12:20:00 | | | car alarm | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 105BT04 | 10Y03M05 | 105B | 04 | 00:00:40 | 01:12:31:00 | | | NG | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 105CT01 | 10Y03M05 | 105C | 01 | 00:00:37 | 01:13:11:00 | | | NG | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 105CT02 | 10Y03M05 | 105C | 02 | 00:00:38 | 01:13:48:00 | | | minor wind noise at end | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| 105CT03 | 10Y03M05 | 105C | 03 | 00:00:25 | 01:14:26:00 | | | coughing | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |
| @105CT04 | 10Y03M05 | 105C | 04 | 00:00:38 | 01:14:51:00 | Y | | | MixL | MixR | Boom | Jon | Matt | Jim | Radio4 | Boundary |

SOUND **DEVICES**